

情報IT科カリキュラム

分野	科目名	全学年		1年		2年		3年	
		単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間
基礎分野	外国語Ⅰ	4	80	4	80				
	外国語Ⅱ	4	80			4	80		
	外国語Ⅲ	4	80					4	80
	文書理解・文書実務	4	80	4	80				
	社会一般	4	80	4	80				
	進路指導・卒業論文	4	80					4	80
	小計	24	480	12	240	4	80	8	160
専門分野	情報処理概論Ⅰ	4	80	4	80				
	情報処理概論Ⅱ	4	80			4	80		
	情報数学・確率統計	4	80	4	80				
	コンピュータ言語Ⅰ	8	160	8	160				
	コンピュータ言語Ⅱ	8	160			8	160		
	コンピュータ言語Ⅲ	8	160					8	160
	プログラミングⅠ	4	80			4	80		
	プログラミングⅡ	4	80			4	80		
	アルゴリズム	4	80					4	80
	システム設計	4	80					4	80
	小計	52	1040	16	320	20	400	16	320
専門実習科目	コンピュータ演習	4	160	4	160				
	プログラム演習	4	160			4	160		
	システム演習	4	160					4	160
	ソフトウェア演習	2	80	2	80				
	画像処理Ⅰ	4	160			4	160		
	画像処理Ⅱ	4	160					4	160
	小計	22	880	6	240	8	320	8	320
合計	98	2400	34	800	32	800	32	800	

情報 IT 科

科目	外国語 I		基礎	履修学年	1	単位	4	時間	80
目標	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	2	今季概要	今季概要	今季概要
2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N3 レベルの漢字読み(1)	2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N3 レベルの漢字読み(1)	3	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N3 レベルの漢字読み(1)	日本語能力検定 N3 レベルの漢字読み(1)
3	文字・語彙(2)	N3 レベルの漢字読み(2)	3	文字・語彙(2)	N3 レベルの漢字読み(2)	4	文字・語彙(2)	N3 レベルの漢字読み(2)	N3 レベルの漢字読み(2)
4	文字・語彙(3)	N3 レベルの表記	4	文字・語彙(3)	N3 レベルの表記	5	文字・語彙(3)	N3 レベルの表記	N3 レベルの表記
5	文字・語彙(4)	N3 レベルの文脈規定	5	文字・語彙(4)	N3 レベルの文脈規定	6	文字・語彙(4)	N3 レベルの文脈規定	N3 レベルの文脈規定
6	文字・語彙(5)	N3 レベルの言い換え類義	6	文字・語彙(5)	N3 レベルの言い換え類義	7	文字・語彙(5)	N3 レベルの言い換え類義	N3 レベルの言い換え類義
7	文字・語彙(6)	N3 レベルの用法	7	文字・語彙(6)	N3 レベルの用法	8	文字・語彙(6)	N3 レベルの用法	N3 レベルの用法
8	聴解(1)	N3 レベルのポイント理解	8	聴解(1)	N3 レベルのポイント理解	9	聴解(1)	N3 レベルのポイント理解	N3 レベルのポイント理解
9	聴解(2)	N3 レベルの概要理解	9	聴解(2)	N3 レベルの概要理解	10	聴解(2)	N3 レベルの概要理解	N3 レベルの概要理解
10	聴解(3)	N3 レベルの発話表現	10	聴解(3)	N3 レベルの発話表現	11	聴解(3)	N3 レベルの発話表現	N3 レベルの発話表現
11	聴解(4)	N3 レベルの即時応答	11	聴解(4)	N3 レベルの即時応答	12	聴解(4)	N3 レベルの即時応答	N3 レベルの即時応答
12	文法(1)	N3 レベルの文の文法	12	文法(1)	N3 レベルの文の文法	13	文法(1)	N3 レベルの文の文法	N3 レベルの文の文法
13	文法(2)	N3 レベルの文の文法	13	文法(2)	N3 レベルの文の文法	14	文法(2)	N3 レベルの文の文法	N3 レベルの文の文法
14	文法(3)	N3 レベルの文章の文法	14	文法(3)	N3 レベルの文章の文法	15	文法(3)	N3 レベルの文章の文法	N3 レベルの文章の文法
15	読解(1)	N3 レベル読解指示代名詞	15	読解(1)	N3 レベル読解指示代名詞	16	読解(1)	N3 レベル読解指示代名詞	N3 レベル読解指示代名詞
16	読解(2)	N3 レベルの読解の理由	16	読解(2)	N3 レベルの読解の理由	17	読解(2)	N3 レベルの読解の理由	N3 レベルの読解の理由
17	読解(3)	N3 レベル読解の内容一致	17	読解(3)	N3 レベル読解の内容一致	18	読解(3)	N3 レベル読解の内容一致	N3 レベル読解の内容一致
18	読解(4)	N3 レベル読解の情報検索	18	読解(4)	N3 レベル読解の情報検索	19	読解(4)	N3 レベル読解の情報検索	N3 レベル読解の情報検索
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	20	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験				
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
新完全マスター日本語能力試験文法 N3(スリーエーネットワーク出版)、 新完全マスター日本語能力試験語彙 N3(スリーエーネットワーク出版)									
担当教員						和田浩子			

情報 IT 科

科目	外国語 II		基礎	履修学年	2	単位	4	時間	80		
目標	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。										
内容											
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N2 レベルの漢字読み(1)	2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N2 レベルの漢字読み(1)
2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N2 レベルの漢字読み(1)	3	文字・語彙(2)	N2 レベルの漢字読み(2)	3	文字・語彙(2)	N2 レベルの漢字読み(2)	4	文字・語彙(3)	N2 レベルの表記
3	文字・語彙(2)	N2 レベルの漢字読み(2)	4	文字・語彙(3)	N2 レベルの表記	5	文字・語彙(4)	N2 レベルの文脈規定	6	文字・語彙(5)	N2 レベルの言い換え類義
4	文字・語彙(3)	N2 レベルの表記	5	文字・語彙(4)	N2 レベルの文脈規定	7	文字・語彙(6)	N2 レベルの用法	8	聴解(1)	N2 レベルのポイント理解
5	文字・語彙(4)	N2 レベルの文脈規定	6	文字・語彙(5)	N2 レベルの言い換え類義	9	聴解(2)	N2 レベルの概要理解	10	聴解(3)	N2 レベルの発話表現
6	文字・語彙(5)	N2 レベルの言い換え類義	7	文字・語彙(6)	N2 レベルの用法	11	聴解(4)	N2 レベルの即時応答	12	文法(1)	N2 レベルの文の文法
7	文字・語彙(6)	N2 レベルの用法	8	聴解(1)	N2 レベルのポイント理解	13	文法(2)	N2 レベルの文の文法	14	文法(3)	N2 レベルの文章の文法
8	聴解(1)	N2 レベルのポイント理解	9	聴解(2)	N2 レベルの概要理解	15	読解(1)	N2 レベル読解指示代名詞	16	読解(2)	N2 レベルの読解の理由
9	聴解(2)	N2 レベルの概要理解	10	聴解(3)	N2 レベルの発話表現	17	読解(3)	N2 レベル読解の内容一致	18	読解(4)	N2 レベル読解の情報検索
10	聴解(3)	N2 レベルの発話表現	11	聴解(4)	N2 レベルの即時応答	19	総まとめ	総まとめ	20	後期期末試験	筆記試験
11	聴解(4)	N2 レベルの即時応答	12	文法(1)	N2 レベルの文の文法						
12	文法(1)	N2 レベルの文の文法	13	文法(2)	N2 レベルの文の文法						
13	文法(2)	N2 レベルの文の文法	14	文法(3)	N2 レベルの文章の文法						
14	文法(3)	N2 レベルの文章の文法	15	読解(1)	N2 レベル読解指示代名詞						
15	読解(1)	N2 レベル読解指示代名詞	16	読解(2)	N2 レベルの読解の理由						
16	読解(2)	N2 レベルの読解の理由	17	読解(3)	N2 レベル読解の内容一致						
17	読解(3)	N2 レベル読解の内容一致	18	読解(4)	N2 レベル読解の情報検索						
18	読解(4)	N2 レベル読解の情報検索	19	総まとめ	総まとめ						
19	総まとめ	総まとめ	20	後期期末試験	筆記試験						
20	前期期末試験	筆記試験									
評価											
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。											
教材											
新完全マスター日本語能力試験文法 N2(スリーエーネットワーク出版)、 新完全マスター日本語能力試験語彙 N2(スリーエーネットワーク出版)											
担当教員						藤本雅美					

情報IT科

科目	外国語Ⅲ		基礎	履修学年	3	単位	4	時間	80
目標	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要
2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N1レベルの漢字読み(1)	2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N1レベルの漢字読み(1)	2	文字・語彙(1)	日本語能力検定 N1レベルの漢字読み(1)	日本語能力検定 N1レベルの漢字読み(1)
3	文字・語彙(2)	N1レベルの漢字読み(2)	3	文字・語彙(2)	N1レベルの漢字読み(2)	3	文字・語彙(2)	N1レベルの漢字読み(2)	N1レベルの漢字読み(2)
4	文字・語彙(3)	N1レベルの表記	4	文字・語彙(3)	N1レベルの表記	4	文字・語彙(3)	N1レベルの表記	N1レベルの表記
5	文字・語彙(4)	N1レベルの文脈規定	5	文字・語彙(4)	N1レベルの文脈規定	5	文字・語彙(4)	N1レベルの文脈規定	N1レベルの文脈規定
6	文字・語彙(5)	N1レベルの言い換え類義	6	文字・語彙(5)	N1レベルの言い換え類義	6	文字・語彙(5)	N1レベルの言い換え類義	N1レベルの言い換え類義
7	文字・語彙(6)	N1レベルの用法	7	文字・語彙(6)	N1レベルの用法	7	文字・語彙(6)	N1レベルの用法	N1レベルの用法
8	聴解(1)	N1レベルのポイント理解	8	聴解(1)	N1レベルのポイント理解	8	聴解(1)	N1レベルのポイント理解	N1レベルのポイント理解
9	聴解(2)	N1レベルの概要理解	9	聴解(2)	N1レベルの概要理解	9	聴解(2)	N1レベルの概要理解	N1レベルの概要理解
10	聴解(3)	N1レベルの発話表現	10	聴解(3)	N1レベルの発話表現	10	聴解(3)	N1レベルの発話表現	N1レベルの発話表現
11	聴解(4)	N1レベルの即時応答	11	聴解(4)	N1レベルの即時応答	11	聴解(4)	N1レベルの即時応答	N1レベルの即時応答
12	文法(1)	N1レベルの文の文法	12	文法(1)	N1レベルの文の文法	12	文法(1)	N1レベルの文の文法	N1レベルの文の文法
13	文法(2)	N1レベルの文の文法	13	文法(2)	N1レベルの文の文法	13	文法(2)	N1レベルの文の文法	N1レベルの文の文法
14	文法(3)	N1レベルの文章の文法	14	文法(3)	N1レベルの文章の文法	14	文法(3)	N1レベルの文章の文法	N1レベルの文章の文法
15	読解(1)	N1レベル読解指示代名詞	15	読解(1)	N1レベル読解指示代名詞	15	読解(1)	N1レベル読解指示代名詞	N1レベル読解指示代名詞
16	読解(2)	N1レベルの読解の理由	16	読解(2)	N1レベルの読解の理由	16	読解(2)	N1レベルの読解の理由	N1レベルの読解の理由
17	読解(3)	N1レベル読解の内容一致	17	読解(3)	N1レベル読解の内容一致	17	読解(3)	N1レベル読解の内容一致	N1レベル読解の内容一致
18	読解(4)	N1レベル読解の情報検索	18	読解(4)	N1レベル読解の情報検索	18	読解(4)	N1レベル読解の情報検索	N1レベル読解の情報検索
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
新完全マスター日本語能力試験文法 N1(スリーエーネットワーク出版)、 新完全マスター日本語能力試験語彙 N1(スリーエーネットワーク出版)									
担当教員						藤本			

情報 IT 科

日常	文書理解・文書実務	基礎	履修学年	1	単位	4	時間	80
目標	日本語書の基本理解をもとに実務文書の作成ができるようにする。							
内容								
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要
2	名詞(人間について 1)	感覚、感情	2	動詞(精神、行為 1)	感覚、感情	2	動詞(精神、行為 1)	感覚、感情
3	名詞(人間について 2)	思考	3	動詞(精神、行為 2)	日常的動作	3	動詞(精神、行為 2)	日常的動作
4	名詞(人間について 3)	文化、芸術、習慣	4	動詞(精神、行為 3)	言語活動	4	動詞(精神、行為 3)	言語活動
5	名詞(人間について 4)	言語活動	5	動詞(精神、行為 4)	思考・意思	5	動詞(精神、行為 4)	思考・意思
6	名詞(人間について 5)	意思	6	形容詞(抽象 1)	力の強弱	6	形容詞(抽象 1)	力の強弱
7	名詞(社会について 1)	社会、国際	7	形容詞(抽象 2)	形状	7	形容詞(抽象 2)	形状
8	名詞(社会について 2)	経済	8	形容詞(抽象 3)	調子・出来具合	8	形容詞(抽象 3)	調子・出来具合
9	名詞(社会について 3)	司法、行政、立法	9	形容詞(精神・行為 1)	人に対する態度	9	形容詞(精神・行為 1)	人に対する態度
10	名詞(社会について 4)	仕事、産業	10	形容詞(精神・行為 2)	物事の特徴・状態	10	形容詞(精神・行為 2)	物事の特徴・状態
11	名詞(社会について 5)	科学、教育	11	副詞 1	状態の副詞	11	副詞 1	状態の副詞
12	名詞(衣食住、自然 1)	衣食住、道具	12	副詞 2	程度の副詞	12	副詞 2	程度の副詞
13	名詞(衣食住、自然 2)	生物	13	副詞 3	陳述の副詞	13	副詞 3	陳述の副詞
14	名詞(衣食住、自然 3)	自然	14	感動詞	感動詞	14	感動詞	感動詞
15	動詞(抽象的關係 1)	物の動き	15	連体詞	連体詞	15	連体詞	連体詞
16	動詞(抽象的關係 2)	変形、変化	16	助動詞	受身	16	助動詞	受身
17	動詞(抽象的關係 3)	物と物の関係	17	助動詞	自発	17	助動詞	自発
18	動詞(抽象的關係 4)	移動	18	助動詞	可能	18	助動詞	可能
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ
20	試験	試験	20	試験	試験	20	試験	試験
評価								
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。								
教材								
中級から学ぶ日本語(研究社)								
担当教員						和田浩子		

科目	社会一般			必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	80
目標	日本の地理(都道府県、県庁所在地、第一次・二次・三次産業、各地の生産物、工業地帯) 阪神淡路大震災～東日本大震災、南海トラフ地震の予想(ビデオ視聴) 日本社会の家族形態の変遷～人口ピラミッド、少子高齢化(少産少死型～多産多死型) 産業革命～市民革命～民主主義世界 経済の三大思想(マルクス経済学・ケインズ経済学・新古典派経済学) 会社の構造(日本的経営【ステークホルダーみんなのもの】と米国的経営【株主がオーナー】) 日本の会社の三種の神器(労働組合、終身雇用、年功序列)非正規雇用の増大と経済格差の増大 AIと外国人労働力、税制と国民生活									
内 容										
1	イントロダクション	自己紹介&学習の意義	1	イントロダクション	後期授業内容について					
2	日本の地理	都道府県記入(プリント配布)	2	食生活の安全	食料自給率、食育					
3	〃	各地の産物、第一次二次三次産	3	環境破壊	温暖化?寒冷化?					
4	〃	工業地帯、山脈、河川等	4	〃	ゴミ問題、外来種、生態系への影					
5	〃	自然災害・地震～南海トラフ大地	5	福祉政策	社会保障、バリアフリー					
6	日本民族の発祥	縄文人&弥生人 狩猟～農耕民	6	極東政治問題	隣国との友好					
7	日本民族の特徴	邑社会と村八分～本音と建前村	7	〃	領土問題、在日米軍					
8	日本社会	各国別人口ピラミッド	8	世界の問題	戦争、核兵器、テロ					
9	〃	家族形態の変遷	9	〃	中東紛争					
10	〃	社会の変容に伴う文化	10	〃	国際連合、米国の力					
11	環境問題	地球環境、各国別人口ピラミッド	11	〃	EU、中国経済					
12	産業・市民革命	産業革命、市民革命、民主化	12	〃	世界遺産、オリンピック					
13	経済体制	共産・社会主義→資本主義	13	科学技術の発展	クローン技術、脳死問題					
14	〃	経済の三大思想	14	〃	宇宙開発、NASA					
15	冷戦と現代社会	東西対立～冷戦構造崩壊	15	〃	原子力発電の未来					
16	〃	市場経済の導入(ソ連、中国、…)	16	〃	AIが人間社会に及ぼす影響					
17	民主主義の成立	政治と国家、国家の三要素	17	日本社会のしくみ	日本国憲法、天皇、民主主義					
18	〃	国家観の変遷、社会契約説	18	〃	国会、選挙制度、三権分立					
19	〃	国民主権、法の支配、人権保障	19	日本経済に関して	税制、株式会社とは					
20	前期試験	前期学習内容	20	後期試験	後期学習内容					
評 価										
日本社会に対する理解と知識の蓄積。国民生活と政治経済情勢がどのように結びついているのか、またそれぞれの進路にどのように影響を及ぼすのかを自覚する。 自分自身のしっかりとした意見や考えを持てるように、自ら考え行動できる力をやしなう。										
教 材										
伊佐治康成,「日本留学試験対策問題集ハイレベル総合科目」,2017,アスク出版 池上彰,世の中まるごとガイドブック応用編,2015,株式会社小学館										
担当講師						坂本 雅彦				

情報IT科

科目	進路指導・卒業論文			必修	履修学年	3	単位数	4	時間数	80	
目標	<p>日本の企業に就職して日本人社員や他の外国人社員に引けをとらないデジタルスキルとともにコミュニケーション能力を発揮できるようになること。 日本語の資格取得も促しつつ、実際の日本語能力が仕事においては重要になるので、企業においてできる人材として評価されることを目標とする。 また語学はその国の文化と切り離せない関係であるので日本社会に対しての文化的理解とともに日本人の民族性も理解しつつ生活していくことが重要であると考え。そのための社会文化能力をやしなうことを目標としています。</p>										
内 容											
1 はじめに	目標設定	1 はじめに	目標再設定	2 就活能力	自己紹介	2 仕事の日本語力	敬語(丁寧・謙譲・尊敬)	3 //	自己分析	3 //	挨拶
4 //	業界・業種・職種	4 //	電話の受け方・かけ方	5 //	勤務の条件	5 //	アポイントのとり方	6 //	自己PR	6 //	ケーススタディ(訪問)
7 //	志望動機	7 //	ケーススタディ(会議)	8 //	履歴書・送付状	8 //	ビジネスメール	9 //	面接の受け方	9 //	日本の会社
10 社会文化能力	日本の都道府県他	10 //	会社の風土	11 //	日本の地理・風土	11 //	上司、同僚、部下	12 //	日本の産業	12 //	仕事の種類や部署
13 //	日本の文化	13 //	入社の手続き 労働契約書	14 //	日本社会の習慣・マナー	14 //	労働問題とその解決方法	15 //	異文化理解(他者理解)	15 //	慶弔等休暇取得に関して
16 社会人基礎力	プレゼンテーション	16 卒業論文	参考文献の読み	17 //	チームビルディング	17 //	テーマ・素材を見つける	18 //	ケーススタディ	18 //	文章作成(序論・本論・結論)
19 //	報告連絡相談	19 //	論文仕上げ	20 前期試験	レポート、他	20 後期試験	レポート、他				
評 価											
<p>デジタル面における実務能力、自己表現力、また実務面における会社内を想定したコミュニケーション能力など、総合的に評価する。また就活フェアなどの参加回数も考慮に入れる。 授業としての単位取得のみならず、就職に向けてより意欲的に取り組むことが重要である。 また論文作成を通じて、文章表現能力などを評価する。</p>											
教 材											
伸ばず就活能力・ビジネス日本語力,2018,図書刊行会											
					担当講師			稲塚久馬			

科目	情報処理概論 I		必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	80	
目 標	コンピュータのしくみや基本原理を理解させ、全般的な知識の蓄積を図る。パソコンのシステムから扱うファイルに関してなど、ハードウェアからネットワークに関して学ぶ。またさまざまな法令からセキュリティの問題まで扱う。企業において業務を行うための知識やスキル、モラルを培う。									
内 容										
1 コンピュータ原理(1)	2進数,8進数,16進数:整数	1 ファイルの形式概論	コンピュータ上でのファイルの形式							
2 コンピュータ原理(2)	2進数,8進数,17進数:小数	2 ファイルの形式(1)	文書によるファイル形式について							
3 コンピュータ原理(3)	コンピュータの原理であるキャラクターコード	3 ファイルの形式(2)	グラフソフトによるファイル形式							
4 コンピュータ原理(4)	JIS漢字コード	4 ファイルの形式(3)	画像ファイルの形式							
5 論理回路(概要)	コンピュータの演算素子である論理回路	5 コンピュータ関連の法律(1)	個人情報保護法・不正アクセス禁止法							
6 論理回路(2)	AND・OR・NOT	6 コンピュータ関連の法律(2)	労働契約法・請負契約							
7 論理回路(3)	NAND・NOR・EX-OR	7 コンピュータセキュリティ(1)	コンピュータウイルスについて							
8 半導体(1)	ダイオード・トランジスタ	8 コンピュータセキュリティ(2)	シーザー信号、暗号解読							
9 半導体(2)	CMOS論理回路	9 インターネットのしくみ(1)	IPアドレス							
10 ハードウェア概論(1)	中央処理装置、主記憶装置	10 インターネットのしくみ(2)	ドメイン							
11 ハードウェア概論(2)	補助記憶装置	11 インターネットのしくみ(3)	国別の普及率							
12 ハードウェア概論(3)	入力装置・出力装置	12 数の接頭語と単位	接頭語と単位について							
13 ネットワーク概論(1)	イーサネットについて	13 情報技術と生活・社会	情報技術と生活・社会のかかわり							
14 ネットワーク概論(2)	トークンリングについて	14 コンピュータの歴史(1)	機械式計算機、チューリングマシン等							
15 ネットワーク概論(3)	HTMLについて	15 コンピュータの歴史(2)	電子計算機、パーソナルコンピュータの誕生							
16 総合演習 I	基数変換	16 総合演習 I	ファイルの形式の総合演習							
17 総合演習 II	論理回路	17 総合演習 II	個人情報保護法に関する総合演習							
18 総合演習 III	ハードウェア概論	18 総合演習 III	コンピュータセキュリティについての総合演習							
19 総合演習 IV	ネットワーク概論	19 総合演習 IV	コンピュータの歴史に関する総合演習							
20 試験対策	前期ふり返り	20 試験対策	後期ふり返り							
21 前期期末試験	総合テスト	21 後期期末試験	総合テスト							
評 価										
学習内容の蓄積度とともにスキルの習熟度を評価する。 出席率も重視し、評価点数に満たないものは再試験・追試験としての課題提出をさせる。										
教 材										
留学生のためのITリテラシー、インフォテックサーブ 最新情報処理概論 改訂版,2014,実教出版株式会社										
					担当講師	小美野 伸泰				

情報 IT 科

科目	情報処理概論Ⅱ			専門	履修学年	2	単位	4	時間	80
目標	<p>パーソナルコンピュータやインターネットの普及には、目を眩るものがある。高速のインターネット接続、ADSL や光ファイバーも普及し、本格的な情報化社会がやってきた。</p> <p>パーソナルコンピュータはまた、文房具や家電品と化しつつもある。ワープロソフトで文章を書き、ペイントソフトで絵を描くのは当たり前になり、テレビとコンピュータも融合しようとしている一方、多くの家電製品や自動車、携帯電話などにも「コンピュータ」が組み込まれ、毎日ご飯を炊いたり、洗濯をしたりしている。コンピュータはもはや、日常生活に欠かすことはできない。そうしたコンピュータのしくみや歴史、ネットワーク、コンピュータセキュリティなど、広い範囲にわたって学ぶ。</p>									
内容										
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要					
2	情報表現(1)	基数と基数変換	2	損益分岐点	損益分岐点の計算理解					
3	情報表現(2)	補助単位とべき乗表現	3	在庫評価	先入れ先出し法					
4	情報表現(3)	2進数表現	4	線形計画法	線形計画法					
5	情報表現(4)	8進数表現	5	QC	QCの七つ道具					
6	情報表現(5)	16進数表現	6	アローダイアグラム	アローダイアグラム作成					
7	情報表現(6)	固定・浮動小数点表記	7	統計	統計手法理解					
8	情報表現(7)	シフト演算	8	確率	確率計算理解					
9	情報表現(8)	数値表現と演算制度	9	ファイルの形式概論	ファイル形式実際					
10	情報表現(9)	各種文字コード	10	ファイルの形式(1)	文書ファイル形式					
11	情報表現(10)	データの符号化	11	ファイルの形式(2)	グラフソフトのファイル形式					
12	情報表現(11)	画像データ	12	ファイルの形式(3)	画像ファイル形式					
13	情報表現(12)	音声データ	13	ソフトウェア概論(1)	OS					
14	集合と論理(1)	論理回路(1)	14	ソフトウェア概論(2)	プログラミング言語					
15	集合と論理(2)	論理回路(2)	15	ソフトウェア概論(3)	画像処理					
16	集合と論理(3)	論理回路(3)	16	コンピュータにかかわる法律	個人情報保護法					
17	集合と論理(4)	ド・モルガンの法則(1)	17	コンピュータにかかわる法律	労働契約法・請負契約法					
18	集合と論理(5)	ド・モルガンの法則(2)	18	コンピュータにかかわる法律	著作権・著作財産権					
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ					
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験					
評価										
<p>出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。</p>										
教材										
<p>留学生のための IT リテラシー(インフォテック・サーブ出版)</p>										
担当教員							竹岡宣博			

情報 IT 科

科目	情報数学・確率統計		必修	履修学年	1	単位	4	時間	80
目標	IT 実務における離散数学分野の知識は必須であるとともに IT のあらゆる事柄の理解を深めるためにも基礎数学の習得は不可欠である。将来多方面わたって IT 実務に取り組む学生にとって本科目は離散数学のみならず一般数学の基礎学習から情報数学分野まで幅広く理解を深めようとするものとなっている。システム制作等での限定的な範囲に限らず広い視野から実務に応用できる数理知識の習得を目標とする。								
内容									
1	数と式	正の数と負の数	1	確率統計	二乗に比例する関数				
2	〃	文字を用いた式	2	〃	二次方程式				
3	〃	一次方程式	3	〃	標本調査				
4	〃	連立方程式	4	〃	二次関数				
5	〃	式の展開と因数分解	5	〃	三角比				
6	〃	平方根	6	〃	場合の数				
7	〃	二次方程式	7	〃	確率				
8	関数	比例と反比例	8	〃	整数の性質				
9	〃	一次関数	9	図形とグラフ	相似				
10	〃	二次関数	10	〃	円周角と中心角				
11	統計基礎	資料統計	11	〃	三平方の定理(平面)				
12	〃	確率基礎	12	〃	三平方の定理(空間)				
13	〃	標本調査	13	〃	集合				
14	〃	長文資料	14	〃	二次関数				
15	図形	平面図形と平行線	15	〃	図形の性質				
16	〃	空間図形	16	論証	式の計算				
17	〃	図形の合同	17	〃	相似				
18	〃	図形の相似	18	〃	三平方の定理(平面)				
19	〃	円周率と中心角	19	〃	論理				
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験				
評価									
出席率が規定率を満たしていること。規定率を満たしているものに期末試験を行う。 52 点以上を合格とし単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
情報数学の基礎(森北出版)、実用数学技能検定記述式演習帳(日本数学検定協会)、ビジネス数学検定問題集(日本数学検定協会)、IT パスポートの教科書(とりい書房)									
担当教員					會田夏希				

情報 IT 科

科目	コンピュータ言語 I		専門	履修学年	1	単位	8	時間	160
目標	プレゼンテーションソフト、データベースソフトを活用し、ビジネスの様々な場面に応じた分析、ドキュメントが作成できる								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要
2	キーボードの理解	CapsLock、Numlock,	2	Access(1)	テーブル作成	テーブル作成	テーブル作成	テーブル作成	テーブル作成
3	文字入力の基本	大・小文字、全・半角	3	Access(2)	レポート作成	レポート作成	レポート作成	レポート作成	レポート作成
4	文字入力の基本	ローマ字入力	4	Access(3)	フォーム作成	フォーム作成	フォーム作成	フォーム作成	フォーム作成
5	タイピング(1)	ホームポジション上下段	5	Access(4)	伝票等作成	伝票等作成	伝票等作成	伝票等作成	伝票等作成
6	タイピング(2)	ホームポジション上下段	6	Access(5)	選択クエリ	選択クエリ	選択クエリ	選択クエリ	選択クエリ
7	タイピング(3)	英文字タイピング	7	Access(6)	結合クエリ	結合クエリ	結合クエリ	結合クエリ	結合クエリ
8	タイピング(4)	ローマ字タイピング	8	Access(7)	数字での抽出方法	数字での抽出方法	数字での抽出方法	数字での抽出方法	数字での抽出方法
9	パワーポイント(1)	パワーポイント概要	9	Access(8)	文字での抽出方法	文字での抽出方法	文字での抽出方法	文字での抽出方法	文字での抽出方法
10	パワーポイント(2)	文字装飾、レイアウト	10	Access(9)	レコード並び替え方法	レコード並び替え方法	レコード並び替え方法	レコード並び替え方法	レコード並び替え方法
11	パワーポイント(3)	オートシェイプ操作(1)	11	Access(10)	数値とパラメータで抽出	数値とパラメータで抽出	数値とパラメータで抽出	数値とパラメータで抽出	数値とパラメータで抽出
12	パワーポイント(4)	オートシェイプ操作(2)	12	Access(11)	文字とパラメータで抽出	文字とパラメータで抽出	文字とパラメータで抽出	文字とパラメータで抽出	文字とパラメータで抽出
13	パワーポイント(5)	オートシェイプ操作(3)	13	Access(12)	2つのテーブルの結合	2つのテーブルの結合	2つのテーブルの結合	2つのテーブルの結合	2つのテーブルの結合
14	パワーポイント(6)	リスト作成操作	14	Access(13)	複数のテーブルの結合	複数のテーブルの結合	複数のテーブルの結合	複数のテーブルの結合	複数のテーブルの結合
15	パワーポイント(7)	グラフ作成操作	15	SQL 言語(1)	SQL 言語の概要	SQL 言語の概要	SQL 言語の概要	SQL 言語の概要	SQL 言語の概要
16	パワーポイント(8)	ヘッダー、フッター	16	SQL 言語(2)	SELECT 文 ORDERBY	SELECT 文 ORDERBY	SELECT 文 ORDERBY	SELECT 文 ORDERBY	SELECT 文 ORDERBY
17	パワーポイント(9)	アニメーション	17	SQL 言語(3)	WHERE、LIKE	WHERE、LIKE	WHERE、LIKE	WHERE、LIKE	WHERE、LIKE
18	パワーポイント(10)	プレゼンテーション	18	SQL 言語(4)	INSERT、UPDATE	INSERT、UPDATE	INSERT、UPDATE	INSERT、UPDATE	INSERT、UPDATE
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						竹岡宣博			

科目	コンピュータ言語Ⅱ		専門	履修学年	2	単位	8	時間	160
目標	Vbscript を活用しビジネスの様々な場面に応じた分析、ドキュメントが作成できる								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要
2	コマンドプロンプト(1)	基礎演習	2	Vbscript(1)	WshAruguments オブジェクト	WshAruguments オブジェクト	WshAruguments オブジェクト	WshAruguments オブジェクト	WshAruguments オブジェクト
3	コマンドプロンプト(2)	ディレクトリ操作	3	Vbscript(2)	FileSystemObject オブジェクト	FileSystemObject オブジェクト	FileSystemObject オブジェクト	FileSystemObject オブジェクト	FileSystemObject オブジェクト
4	コマンドプロンプト(3)	ファイル操作コマンド	4	Vbscript(3)	Drive オブジェクト	Drive オブジェクト	Drive オブジェクト	Drive オブジェクト	Drive オブジェクト
5	コマンドプロンプト(4)	環境設定コマンド	5	Vbscript(4)	File オブジェクト	File オブジェクト	File オブジェクト	File オブジェクト	File オブジェクト
6	コマンドプロンプト(5)	バッチファイル操作	6	Vbscript(5)	Folder オブジェクト	Folder オブジェクト	Folder オブジェクト	Folder オブジェクト	Folder オブジェクト
7	Vbscript	概要と記述方法	7	Vbscript(6)	TextStream オブジェクト	TextStream オブジェクト	TextStream オブジェクト	TextStream オブジェクト	TextStream オブジェクト
8	Vbscript 宣言	宣言方法	8	Vbscript(7)	Drive コレクション	Drive コレクション	Drive コレクション	Drive コレクション	Drive コレクション
9	Vbscript 制御構文	制御構文の理解	9	Vbscript(8)	File コレクション	File コレクション	File コレクション	File コレクション	File コレクション
10	Vbscript ステートメント	ステートメントの理解	10	Vbscript(9)	Folders コレクション	Folders コレクション	Folders コレクション	Folders コレクション	Folders コレクション
11	Vbscript 関数(1)	数値演算関数	11	Vbscript(10)	オブジェクト概要	オブジェクト概要	オブジェクト概要	オブジェクト概要	オブジェクト概要
12	Vbscript 関数(2)	文字列処理演算	12	Vbscript(11)	WshEnvironment	WshEnvironment	WshEnvironment	WshEnvironment	WshEnvironment
13	Vbscript 関数(3)	配列関数	13	Vbscript(12)	WshSpecialfolders	WshSpecialfolders	WshSpecialfolders	WshSpecialfolders	WshSpecialfolders
14	Vbscript 関数(4)	数値演算関数	14	Vbscript(13)	WshShortcut	WshShortcut	WshShortcut	WshShortcut	WshShortcut
15	Vbscript 関数(5)	日付関数	15	Vbscript(14)	WshUrlShortcut	WshUrlShortcut	WshUrlShortcut	WshUrlShortcut	WshUrlShortcut
16	Vbscript 関数(6)	変換関数	16	Vbscript(15)	WshNetwork	WshNetwork	WshNetwork	WshNetwork	WshNetwork
17	Vbscript 関数(7)	変数情報関数	17	Vbscript(16)	正規表現	正規表現	正規表現	正規表現	正規表現
18	Vbscript 関数(8)	その他部分の関数	18	Vbscript(17)	DictionaryObject	DictionaryObject	DictionaryObject	DictionaryObject	DictionaryObject
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						山本晴治			

科目	コンピュータ言語Ⅲ		専門	履修学年	3	単位	8	時間	160
目標	ホームページ作成のための C 言語の理解習得と商業実務に応じた実践的運用ができる								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	2	C 言語(18)	ビット演算	
2	C 言語(1)	C 言語概要	2	C 言語(19)	ビット単位の演算	3	C 言語(20)	プリプロセッサ	
3	C 言語(2)	Printf・Scanf 関数	3	C 言語(21)	列挙型データ	4	C 言語(22)	可変個の引数関数	
4	C 言語(3)	変数・データ型演算子	4	C 言語(23)	文字列とポインタの関係	5	C 言語(24)	ファイル操作(1)	
5	C 言語(4)	制御構文(if for 文)	5	C 言語(25)	ファイル操作(2)	6	C 言語(26)	ファイル操作(3)	
6	C 言語(5)	制御構文(switch while 文)	6	C 言語(27)	ランダムアクセスファイル(1)	7	C 言語(28)	ランダムアクセスファイル(2)	
7	C 言語(6)	配列 1 次関数	7	C++(1)	C++概要	8	C++(2)	オブジェクト指向クラス作成	
8	C 言語(7)	配列 2 次関数	8	C++(3)	コントラクト、デストラクタ	9	C++(4)	継承についての理解	
9	C 言語(8)	関数(文字列)	9	C++(5)	New・Delete の理解	10	C++(6)	仮想関数	
10	C 言語(9)	関数(数値関数)	10	総まとめ	総まとめ	11	前期期末試験	筆記試験	
11	C 言語(10)	関数(関数の呼び出し)	11	後期期末試験	筆記試験	12			
12	C 言語(11)	関数(再起関数)	12			13			
13	C 言語(12)	ポインタの基礎	13			14			
14	C 言語(13)	文字列とポインタの関係	14			15			
15	C 言語(14)	ポインタ(メモリの動的確保)	15			16			
16	C 言語(15)	構造体の基礎	16			17			
17	C 言語(16)	構造体とポインタ	17			18			
18	C 言語(17)	構造体時刻関数	18			19			
19	総まとめ	総まとめ	19			20			
20	前期期末試験	筆記試験	20						
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						山本晴治			

情報 IT 科

科目	プログラミング I		専門	履修学年	2	単位	4	時間	80
目標	<p>プログラム言語(JavaScript 等)の基本的な知識を習得し、プログラム言語の概念を理解する。 プログラム言語(JavaScript 等)の実習を通して、プログラムの基礎を理解する。Java 言語の基本を習得することによって、商業実務における Web 制作作業、Web 改修更新作業に携わることができるようになる。</p>								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要
2	HTMLについて	HTML 概要	2	Javascript(1)	javascript 概論	2	Javascript(1)	javascript 概論	javascript 概論
3	HTML 文字表示	文字表示	3	Javascript(2)	変数初期化、コメント	3	Javascript(2)	変数初期化、コメント	変数初期化、コメント
4	HTML レイアウト、フォント	レイアウト、フォント変更	4	Javascript(3)	数字の入力	4	Javascript(3)	数字の入力	数字の入力
5	HTML ハイパーリンク作成	ハイパーリンク作成	5	Javascript(4)	文字列の扱い	5	Javascript(4)	文字列の扱い	文字列の扱い
6	HTML テーブル作成(1)	テーブル作成(内側指定)	6	Javascript(5)	数値の扱い	6	Javascript(5)	数値の扱い	数値の扱い
7	HTML テーブル作成(2)	テーブル作成(外側指定)	7	Javascript(6)	演算子	7	Javascript(6)	演算子	演算子
8	HTML リスト表示	リスト作成	8	Javascript(7)	if 文	8	Javascript(7)	if 文	if 文
9	HTML 画像表示	画像表示	9	Javascript(8)	while 文	9	Javascript(8)	while 文	while 文
10	HTML フォーム作成(1)	button, text, selectbox, textarea	10	Javascript(9)	for 文	10	Javascript(9)	for 文	for 文
11	HTML フォーム作成(2)	selectbox, textarea	11	Javascript(10)	1次元配列	11	Javascript(10)	1次元配列	1次元配列
12	HTML フレームページ	frameset, frame	12	Javascript(11)	2次元配列	12	Javascript(11)	2次元配列	2次元配列
13	CSS(1)	タグに直接入力する	13	Javascript(12)	オブジェクト	13	Javascript(12)	オブジェクト	オブジェクト
14	CSS(2)	フォント作成方法	14	Javascript(13)	文字列関数	14	Javascript(13)	文字列関数	文字列関数
15	CSS(3)	背景作成する方法	15	Javascript(14)	数値関数	15	Javascript(14)	数値関数	数値関数
16	CSS(4)	リンク作成	16	Javascript(15)	日付関数	16	Javascript(15)	日付関数	日付関数
17	CSS(5)	フォーム作成	17	Javascript(16)	ボタン部品各種	17	Javascript(16)	ボタン部品各種	ボタン部品各種
18	CSS(6)	テーブル作成	18	Javascript(17)	テキストボックス・セレクトボックス	18	Javascript(17)	テキストボックス・セレクトボックス	テキストボックス・セレクトボックス
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験
評価									
<p>出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。</p>									
教材									
<p>担当講師オリジナルのプリントを使用</p>									
担当教員						山本晴治			

情報 IT 科

科目	プログラミングⅡ		専門	履修学年	2	単位	4	時間	80
目標	プログラム言語(Java)の基本的な知識から発展分野までを習得の範囲とする。プログラム言語の概念を理解することから応用作業の領域に入ることによって、Web制作だけでなくより広範囲な商業実務作業に対応できるようになることを目指す。								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要
2	Java(1)	Javaの基礎(1)	2	Java(18)	テキストファイル入出力(1)	2	Java(18)	テキストファイル入出力(1)	テキストファイル入出力(1)
3	Java(2)	Javaの基礎(2)	3	Java(19)	テキストファイル入出力(2)	3	Java(19)	テキストファイル入出力(2)	テキストファイル入出力(2)
4	Java(3)	文字列と数値(1)	4	Java(20)	コレクション(1)	4	Java(20)	コレクション(1)	コレクション(1)
5	Java(4)	文字列と数値(2)	5	Java(21)	コレクション(2)	5	Java(21)	コレクション(2)	コレクション(2)
6	Java(5)	演算子	6	Java(22)	コレクション(3)	6	Java(22)	コレクション(3)	コレクション(3)
7	Java(6)	繰り返し処理	7	Java(23)	クラスの作成	7	Java(23)	クラスの作成	クラスの作成
8	Java(7)	条件分岐	8	Java(24)	コントラクタ	8	Java(24)	コントラクタ	コントラクタ
9	Java(8)	処理の流れの制御	9	Java(25)	クラスの継承	9	Java(25)	クラスの継承	クラスの継承
10	Java(9)	配列(1)	10	Java(26)	Mathクラス	10	Java(26)	Mathクラス	Mathクラス
11	Java(10)	配列(2)	11	Java(27)	Scannerクラス	11	Java(27)	Scannerクラス	Scannerクラス
12	Java(11)	Stringクラス(1)	12	Java(28)	Calendarクラス	12	Java(28)	Calendarクラス	Calendarクラス
13	Java(12)	Stringクラス(2)	13	Java(29)	ファイル管理(1)	13	Java(29)	ファイル管理(1)	ファイル管理(1)
14	Java(13)	メソッドの利用	14	Java(30)	ファイル管理(2)	14	Java(30)	ファイル管理(2)	ファイル管理(2)
15	Java(14)	引数	15	Java(31)	ファイル管理(3)	15	Java(31)	ファイル管理(3)	ファイル管理(3)
16	Java(15)	型変換	16	Java(32)	コマンドプロンプト(1)	16	Java(32)	コマンドプロンプト(1)	コマンドプロンプト(1)
17	Java(16)	ラッパークラス文字列と数値	17	Java(33)	コマンドプロンプト(2)	17	Java(33)	コマンドプロンプト(2)	コマンドプロンプト(2)
18	Java(17)	例外処理	18	Java(34)	コマンドプロンプト(3)	18	Java(34)	コマンドプロンプト(3)	コマンドプロンプト(3)
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価52点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						山本晴治			

情報 IT 科

科目	アルゴリズム			専門	履修学年	3	単位	4	時間	80
目標	<p>プログラミングを行う上で設計図の制作必要であり質の高い制作を行うためにもアルゴリズムの考えを導入していくことが必須となる。本講座ではそのアルゴリズムの理論を基本から実務運用レベルまで習得することが目標となる。ビジネス実務の場においても広範囲にその手法を活用できるようになることまでを習得の目標とする。</p>									
内容										
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要	今季概要
2	アルゴリズム概要	アルゴリズム概要	2	データ構造(1)	抽出データ型とクラス	2	データ構造(1)	抽出データ型とクラス	抽出データ型とクラス	抽出データ型とクラス
3	フローチャート(1)	書き方(1)	3	データ構造(2)	線形データ構造	3	データ構造(2)	線形データ構造	線形データ構造	線形データ構造
4	フローチャート(2)	書き方(2)	4	データ構造(3)	リスト	4	データ構造(3)	リスト	リスト	リスト
5	フローチャート(3)	代入	5	データ構造(4)	スタック・キュー	5	データ構造(4)	スタック・キュー	スタック・キュー	スタック・キュー
6	フローチャート(4)	順次構造	6	データ構造(5)	リスト	6	データ構造(5)	リスト	リスト	リスト
7	フローチャート(5)	分岐構造	7	データ構造(6)	スタック・キュー	7	データ構造(6)	スタック・キュー	スタック・キュー	スタック・キュー
8	フローチャート(6)	反復構造	8	データ構造(7)	連想配列	8	データ構造(7)	連想配列	連想配列	連想配列
9	フローチャート(7)	算術演算	9	データ構造(8)	連想リスト	9	データ構造(8)	連想リスト	連想リスト	連想リスト
10	フローチャート(8)	入出力	10	データ構造(9)	グラフデータ構造	10	データ構造(9)	グラフデータ構造	グラフデータ構造	グラフデータ構造
11	フローチャート(9)	条件分岐	11	データ構造(10)	ツリー	11	データ構造(10)	ツリー	ツリー	ツリー
12	フローチャート(10)	複合分岐	12	データ構造(11)	バイナリーツリー	12	データ構造(11)	バイナリーツリー	バイナリーツリー	バイナリーツリー
13	フローチャート(11)	配列	13	データ構造(12)	バイナリサーチツリー	13	データ構造(12)	バイナリサーチツリー	バイナリサーチツリー	バイナリサーチツリー
14	フローチャート(12)	検索・ソート(1)	14	データ構造(13)	バランسدツリー	14	データ構造(13)	バランسدツリー	バランسدツリー	バランسدツリー
15	フローチャート(13)	検索・ソート(2)	15	データ構造(14)	ヒープ	15	データ構造(14)	ヒープ	ヒープ	ヒープ
16	フローチャート(14)	文字列処理	16	データ構造(15)	マージ	16	データ構造(15)	マージ	マージ	マージ
17	フローチャート(15)	文字列比較	17	データ構造(16)	クイック	17	データ構造(16)	クイック	クイック	クイック
18	フローチャート(16)	文字列連結	18	データ構造(17)	分布数え上げ	18	データ構造(17)	分布数え上げ	分布数え上げ	分布数え上げ
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験
評価										
<p>出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。</p>										
教材										
<p>担当講師オリジナルのプリントを使用</p>										
担当教員							山本晴治			

情報 IT 科

科目	システム設計		専門	履修学年	3	単位	4	時間	80
目標	システム開発の作業概念の学習を通して、Java を中心としたビジネスの現場で汎用性の高いアプリケーションを使用し、より広いビジネス実務に活用できる知識の習得を目指す。								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要
2	システム開発アプローチ(1)	プロセス中心アプローチ	2	アプリケーション開発操作(1)	Eclipse 概要	2	アプリケーション開発操作(1)	Eclipse 概要	Eclipse 概要
3	システム開発アプローチ(2)	データ中心アプローチ	3	アプリケーション開発操作(2)	プロジェクトの作成	3	アプリケーション開発操作(2)	プロジェクトの作成	プロジェクトの作成
4	システム開発アプローチ(3)	オブジェクト指向アプローチ	4	アプリケーション開発操作(3)	Java クラスの作成	4	アプリケーション開発操作(3)	Java クラスの作成	Java クラスの作成
5	システム開発技術概要(1)	システムのライフサイクル	5	アプリケーション開発操作(4)	Java コードの編集	5	アプリケーション開発操作(4)	Java コードの編集	Java コードの編集
6	システム開発技術概要(2)	ソフトウェア開発モデル	6	アプリケーション開発操作(5)	プログラムの実行	6	アプリケーション開発操作(5)	プログラムの実行	プログラムの実行
7	システム開発技術概要(3)	要求分析・定義	7	アプリケーション開発操作(6)	Java デバック	7	アプリケーション開発操作(6)	Java デバック	Java デバック
8	システム開発技術概要(4)	ソフトウェア要件設計	8	アプリケーション開発操作(7)	Eclipse ユーザインターフェース	8	アプリケーション開発操作(7)	Eclipse ユーザインターフェース	Eclipse ユーザインターフェース
9	システム開発技術概要(5)	ソフトウェア方式設計	9	アプリケーション開発操作(8)	Eclipse のヘルプ	9	アプリケーション開発操作(8)	Eclipse のヘルプ	Eclipse のヘルプ
10	システム開発技術概要(6)	ソフトウェア詳細設計	10	アプリケーション開発操作(9)	Java のパースペクティブ	10	アプリケーション開発操作(9)	Java のパースペクティブ	Java のパースペクティブ
11	システム開発技術概要(7)	プログラミング	11	アプリケーション開発操作(10)	Java のエディタ機能	11	アプリケーション開発操作(10)	Java のエディタ機能	Java のエディタ機能
12	システム開発技術概要(8)	単体テスト	12	アプリケーション開発実習(1)	アプリケーション(1)	12	アプリケーション開発実習(1)	アプリケーション(1)	アプリケーション(1)
13	システム開発技術概要(9)	ソフトウェア結合テスト	13	アプリケーション開発実習(2)	アプリケーション(2)	13	アプリケーション開発実習(2)	アプリケーション(2)	アプリケーション(2)
14	システム開発技術概要(10)	その他テスト	14	アプリケーション開発実習(3)	アプリケーション(3)	14	アプリケーション開発実習(3)	アプリケーション(3)	アプリケーション(3)
15	システム開発技術概要(11)	テスト管理	15	アプリケーション開発実習(4)	アプリケーション(4)	15	アプリケーション開発実習(4)	アプリケーション(4)	アプリケーション(4)
16	システム開発での文書(1)	いろいろな文書	16	アプリケーション開発実習(5)	アプリケーション(5)	16	アプリケーション開発実習(5)	アプリケーション(5)	アプリケーション(5)
17	システム開発での文書(2)	システム開発での文書	17	アプリケーション開発実習(6)	アプリケーション(6)	17	アプリケーション開発実習(6)	アプリケーション(6)	アプリケーション(6)
18	システム開発での文書(3)	文書作成演習	18	アプリケーション開発実習(7)	アプリケーション(7)	18	アプリケーション開発実習(7)	アプリケーション(7)	アプリケーション(7)
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						山本晴治			

科目	コンピュータ演習			必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	160
目 標	ビジネスの現場でのWord, Excelの活用方法。 Word：社内・社外文書、名刺、チラシ等の作成。文章と画像の混在データの作成方法。 Excel：テーブル・関数を用いた表の作成。グラフの作成。 Word&Excel：住所録の作成とはがきへの差し込み印刷の仕方。 ※Word・Excelは1年次の復習を兼ねる。 Powerpointの基礎から応用まで。プレゼンデータや提案書の作成方法。 図形の加工の仕方、SmartArt、表やグラフの挿入、アニメーションの設定。 全体のレイアウトや一貫性のあるプレゼンデータが作成できる。									
内 容										
1	イントロダクション	Word	入力の基本	1	スライドの作成	Powerpoint	基本的用途、使用法			
2	組織図&レポート	Word	SmartArt活用	2	デザイン、文字入力	Powerpoint	スライドのデザイン等			
3	社内文書作成	Word	基本レイアウト	3	書式設定、Wordart	Powerpoint	フォントの選択等			
4	告知文と資料	Word	表の作成	4	テキストボックス	Powerpoint	スライドのレイアウト等			
5	行動指針作成	Word	文書とSmartArt	5	画像・動画の挿入	Powerpoint	画像の挿入、編集等			
6	S一覧と告知文	Word	社外文書、季語、インデント	6	表作成と編集①	Powerpoint	表の挿入、文字入力			
7	S申込者一覧	Excel	入力の基本、PHONETIC関数	7	表作成と編集②	Powerpoint	表のデザイン、サイズ			
8	受講票	Word	差し込み印刷	8	グラフ作成と編集①	Powerpoint	グラフ数値等の入力			
9	はがき宛名印刷	Word	差し込み印刷	9	グラフ作成と編集②	Powerpoint	スタイル、サイズ変更等			
10	アクセス数の集計	Excel	SUM、Average関数、日付	10	SmartArt作成①	Powerpoint	SmartArt挿入			
11	アクセス数の分析	Excel	表からグラフ、図形の作成	11	SmartArt作成②	Powerpoint	図形追加他			
12	成績の集計作成	Excel	テーブル、RANK関数	12	図形の活用、描画	Powerpoint	サイズ変更、描画作成			
13	個別分析作成	Excel	VLOOKUP関数、グラフ作成	13	スライドショー	Powerpoint	プレゼン方法			
14	売上集計表作成	Excel	数値表示形式	14	画面切り替え	Powerpoint	速度、効果音等			
15	目標達成率算出	Excel	条件付き書式	15	アニメーション設定	Powerpoint	効果的な設定方法			
16	売上構成比比較	Excel	円グラフ	16	配布資料の作成	Powerpoint	ノート表示、メモ入り			
17	実績・目標比較	Excel	複合グラフ(棒・折れ線)	17	ヘッダー・フッター	Powerpoint	配布資料用			
18	マスター表作成	Excel	表の作成	18	数式の入力	Powerpoint	数式ツール使用			
19	開催S一覧表作成	Excel	VLOOKUP関数	19	提案書の作り方	Powerpoint	訴求力あるレイアウト等			
20	前期のまとめ	Word,Excel	企業での活用内容	20	後期のまとめ	Powerpoint	チラシ、ポスターなど			
評 価										
Word、Excelに関しては、企業において実際に使えるデータづくり。Wordにおいては社内・社外の基本的な文書づくり。Excelにおいては売上や顧客管理等に活用できるデータの作成。関数や表の作成。 Powerpointは基礎から応用までを学ぶ。最終的には企業内において、提案書やプレゼンデータの作成を目標とする。 それぞれ課題を課し、その完成度や使用ソフトのさまざまな機能の熟達度で評価する。										
教 材										
富士通エフ・オー・エム株式会社, Word2007&Excel2007ビジネス実践スキルアップ問題集, FOM出版 相澤裕介, 留学生のためのPowerPoint2016ワークブック, 株式会社カットシステム 他										
担当講師						坂本 雅彦				

情報 IT 科

科目	プログラム演習		必修	履修学年	2	単位	4	時間	120
目標	<p>企業実務において、パソコンソフトなどによるビジネス文書の作成能力や業務データの処理・分析能力は極めて重要な能力として求められている。本科目では一年次履修したアプリケーション(Word・Excel・PowerPoint・Access)基礎をさらに発展させより高度な操作能力を習得しMOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)の資格取得さらにはVBAスペシャリスト資格取得を目指し実務に役立つ実践的知識と技能を身につけることを目標とする。</p>								
内容									
1	Excel 関数の利用	ROUND・RANKEQ 関数	1	フォームの活用					コントロールの作成
2	関数の利用	IF・COUNTIF 関数	2	アクションクエリ					テーブル作成クエリ
3	＃	TODAY・DATEDIF 関数	3	サブフォームの活用					メイン・サブフォームの作成
4	＃	VLOOKUP・IF 関数複合	4	＃					メイン・サブレポートの作成
5	表作成の活用	条件付書式の設定	5	ExcelMOS 対策					対策テキスト問題
6	＃	ユーザー定義の表示形式	6	＃					対策テキスト問題
7	＃	入力規則の設定	7	＃					対策テキスト問題
8	グラフの活用	複合グラフの作成	8	＃					対策テキスト問題
9	＃	補助横棒グラフ付き円グラフ	9	WordMOS 対策					対策テキスト問題
10	＃	スパークラインの作成	10	＃					対策テキスト問題
11	グラフィックの利用	SmartArt 図形の作成	11	＃					対策テキスト問題
12	データベースの活用	データの集計	12	＃					対策テキスト問題
13	ピボットテーブル	ピボットテーブルの編集	13	ExcelVBA					マクロの記録
14	ピボットグラフ	ピボットグラフの作成	14	＃					モジュールとプロシージャ
15	マクロの作成	マクロの概要	15	＃					VBA の構文
16	Access データベースの概要	会員管理データベース概要	16	＃					変数と定数
17	テーブルの活用	フィールドプロパティ	17	＃					セルの操作
18	リレーションシップ	参照整合性の概要	18	＃					ステートメント
19	クエリの活用	関数の利用	19	＃					関数
20	前期期末試験	実技試験	20	後期期末試験					実技試験
評価									
<p>出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。</p>									
教材									
<p>Excel2016 応用(FOM 出版)、Access2016 応用(FOM 出版)、MOSExcell2016 対応テキスト(FOM 出版)、MOSWord2016 対応テキスト(FOM 出版)、ExcelVBA エキスパート(Odyssey 出版)</p>									
担当教員						上内範男			

情報 IT 科

科目	システム演習			専門	履修学年	3	単位	4	時間	160	
目標	Office2016 をベースにした Excel マクロ・VBA の基本知識習得し様々な実例を通してビジネス実務への実践力の習得までを目標とする。										
内容											
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	2	AccessVBA(1)	AccessVBA 概要	2	AccessVBA(1)	AccessVBA 概要
2	マクロ	マクロの自動記録	2	マクロ	マクロの自動記録	3	AccessVBA(2)	プログラム基礎(1)	3	AccessVBA(2)	プログラム基礎(1)
3	ExcelVBA(1)	VBA 概要	3	ExcelVBA(1)	VBA 概要	4	AccessVBA(3)	プログラム基礎(2)	4	AccessVBA(3)	プログラム基礎(2)
4	ExcelVBA(2)	ワークシートの操作	4	ExcelVBA(2)	ワークシートの操作	5	AccessVBA(4)	デバッグ(1)	5	AccessVBA(4)	デバッグ(1)
5	ExcelVBA(3)	セルの範囲設定	5	ExcelVBA(3)	セルの範囲設定	6	AccessVBA(5)	デバッグ(2)	6	AccessVBA(5)	デバッグ(2)
6	ExcelVBA(4)	繰り返し処理	6	ExcelVBA(4)	繰り返し処理	7	AccessVBA(6)	フォーム操作(1)	7	AccessVBA(6)	フォーム操作(1)
7	ExcelVBA(5)	条件分岐	7	ExcelVBA(5)	条件分岐	8	AccessVBA(7)	フォーム操作(2)	8	AccessVBA(7)	フォーム操作(2)
8	ExcelVBA(6)	配列の利用	8	ExcelVBA(6)	配列の利用	9	AccessVBA(8)	フォーム操作(3)	9	AccessVBA(8)	フォーム操作(3)
9	ExcelVBA(7)	ユーザーフォーム(1)	9	ExcelVBA(7)	ユーザーフォーム(1)	10	AccessVBA(9)	SQL(1)	10	AccessVBA(9)	SQL(1)
10	ExcelVBA(8)	ユーザーフォーム(2)	10	ExcelVBA(8)	ユーザーフォーム(2)	11	AccessVBA(10)	SQL(2)	11	AccessVBA(10)	SQL(2)
11	ExcelVBA(9)	ユーザーフォーム(3)	11	ExcelVBA(9)	ユーザーフォーム(3)	12	AccessVBA(11)	SQL(3)	12	AccessVBA(11)	SQL(3)
12	ExcelVBA(10)	ユーザーフォーム(4)	12	ExcelVBA(10)	ユーザーフォーム(4)	13	AccessVBA(12)	ADO(1)	13	AccessVBA(12)	ADO(1)
13	ExcelVBA(11)	ユーザーフォーム(5)	13	ExcelVBA(11)	ユーザーフォーム(5)	14	AccessVBA(13)	ADO(2)	14	AccessVBA(13)	ADO(2)
14	ExcelVBA(12)	ユーザーフォーム(6)	14	ExcelVBA(12)	ユーザーフォーム(6)	15	AccessVBA(14)	ADO(3)	15	AccessVBA(14)	ADO(3)
15	ExcelVBA(13)	ユーザーフォーム(7)	15	ExcelVBA(13)	ユーザーフォーム(7)	16	AccessVBA(15)	ADO(4)	16	AccessVBA(15)	ADO(4)
16	ExcelVBA(14)	デバッグ(1)	16	ExcelVBA(14)	デバッグ(1)	17	AccessVBA(16)	コントロールの設置(1)	17	AccessVBA(16)	コントロールの設置(1)
17	ExcelVBA(15)	デバッグ(2)	17	ExcelVBA(15)	デバッグ(2)	18	AccessVBA(17)	コントロールの設置(2)	18	AccessVBA(17)	コントロールの設置(2)
18	ExcelVBA(16)	デバッグ(3)	18	ExcelVBA(16)	デバッグ(3)	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験
20	前期期末試験	筆記試験	20	前期期末試験	筆記試験						
評価											
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。											
教材											
担当講師オリジナルのプリントを使用											
							担当教員	竹岡宣博			

科目	ソフトウェア演習		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	80
目 標	HTMLとCSSの基本的な知識と演習を通じた習得をめざす。 ホームページの作成からWebデザインにいたるまでそのスキルの習得を通じて、企業でのあらゆる業務に対応できることを目指す。								
内 容									
1 HTMLについて	ホームページ作成のHTML	1 CSS概要	CSSの概念について理解させる。						
2 HTML言語(1)	文字表示	2 CSS基本構造(1)	タグに直接入力する方法						
3 HTML言語(2)	フォント変更	3 CSS基本構造(2)	class指定による設定方法						
4 HTML言語(3)	レイアウト概要	4 CSS基本構造(3)	idセレクトタによる指定方法						
5 HTML言語(4)	ハイパーリンク作成方法	5 CSS基本構造(4)	外部ファイルでの設定方法						
6 HTML言語(5)	テーブル作成(内側指定)	6 CSS基本構造(5)	html特定タグのみにCSSを設定						
7 HTML言語(6)	テーブル作成(外側指定)	7 CSS基本構造(6)	フォント作成方法						
8 HTML言語(7)	リスト表示の方法	8 CSS基本構造(7)	背景作成する方法						
9 HTML言語(8)	画像表示方法	9 CSS基本構造(8)	画像添付方法						
10 HTML言語(9)	フォーム作成(button,text等)	10 CSS基本構造(9)	リンク作成方法						
11 HTML言語(10)	フォーム作成(selectbox,textarea)	11 CSS基本構造(10)	フォーム作成する方法						
12 HTML言語(11)	フレームページ作成(frameset,frame)	12 CSS基本構造(11)	テーブル作成方法						
13 HTML言語(12)	フレームページ作成(iframe,noframe作成)	13 CSS基本構造(12)	タグにリスト作成方法						
14 HTML言語(13)	データの埋め込み方(objectの静止画埋込)	14 CSS基本構造(13)	特殊フィルタ作成方法						
15 HTML言語(14)	データの埋め込み方(objectの動画・音声埋込)	15 演習(1)	総合演習Ⅰ						
16 演習(1)	総合演習Ⅰ	16 演習(2)	総合演習Ⅱ						
17 演習(2)	総合演習Ⅱ	17 演習(3)	総合演習Ⅲ						
18 演習(3)	総合演習Ⅲ	18 演習(4)	総合演習Ⅳ						
19 演習(4)	総合演習Ⅳ	19 演習(5)	総合演習Ⅴ						
20 演習(5)	総合演習Ⅴ	20 後期まとめ	後期ふり返り						
21 前期まとめ	前期ふり返り	21 総まとめ	復習、質疑応答						
評 価									
演習を行いその理解度や上達度から評価する。 出席率も重視し、評価点数に満たないものは再試験・追試験としての課題提出をさせる。									
教 材									
今すぐ使えるかんたん ホームページHTML&CSS入門,2019,技術評論社									
					担当講師		松田 亮		

科目	画像処理 I		必修	履修学年	2	単位数	4	時間数	160
目標	<p>Adobe Photoshop, Illustratorの基礎を学ぶ。 企業でさまざまな分野で活用ができるようにする。会社のパンフレットや商品のカタログ、また営業部門ではチラシやポスターなど、基本的なデザインができるようにする。 入力装置(デジカメやUSBメモリーなど)、出力装置(PCモニターやプリンターなど)、具体的なメディア(用紙など)の種類、色の三原色、画像加工全般。 画像加工ができるとレイアウトなどのセンスも磨くことができ、企業においてプレゼンデータを作る際にもたいへん有効である。また販促部門や広報部門におけるデザインなども担当することができるようになる。</p>								
内 容									
1 イントロダクション	自己紹介、学習の意義	1 Illustrator	使用用途(イラスト、ポスター他)						
2 PCの構造	入力、出力装置、メディアの種類	2 操作方法	基本操作						
3 Photoshop	光・色の三原色、ピクセルの説明	3 //	ファイル新規作成～操作画面						
4 操作方法	レイヤー、ナビゲーター、ツール他	4 //	パネルの操作						
5 //	レイヤーの複製、画像の選択	5 //	画面の取り込み、拡大表示、他						
6 //	消しゴム、スタンプ	6 //	ファイルの保存、プリント方法						
7 演習01	カンバスの角度変更、トリミング	7 演習01	基本の描画方法①						
8 演習02	修復ブラシツール、パッチツール	8 演習02	基本の描画方法②						
9 演習03	パッチツール、汚れを消す	9 演習03	画像の変形①拡大、変形、コピー						
10 演習04	赤目補正	10 演習04	画像の変形②回転、反転、傾き						
11 演習05	画像の複製	11 演習05	オブジェクトの組み合わせ						
12 演習06	なげ縄ツール	12 演習06	グループ、レイヤーで操作						
13 演習07	画像選択、セピア色変更	13 演習07	編集モード、色の変更						
14 演習08	パッチツール他、画像の貼付・加	14 演習08	ペンツールでイラストを描く①						
15 演習09	なげ縄ツール、粗いパステル画	15 演習09	ペンツールでイラストを描く②						
16 演習10	アートヒストリーブラシツール他	16 演習10	アンカーポイントの使い方						
17 演習11	画像選択抽出、ぼかし放射状	17 演習11	ブラシツール、テキストの入力						
18 演習12	イラストへ色の挿入、グラデーション	18 演習12	スウォッチ～パターンで模様づくり						
19 演習13	画像の追加、加工、	19 演習13	グラデーション、画像のトレース						
20 演習14	文字の加工、ロゴ作成他	20 演習14	3D効果、立地化、ロゴ						
21 演習15	総合課題 イベントポスター制作	21 演習15	総合課題 企業パンフレット制作						
22 前期まとめ	画像修正・加工	22 後期まとめ	アート仕上げ						
評 価									
<p>Photoshop, Illustratorの基礎的な操作ができる。 Photoshop: 画像の解像度、色調補正、拡大縮小回転などの加工ができる。また各種選択ツール、消しゴム、修正ブラシ、スタンプツールや各種ブラシが使用できる。画像配置と加工を施しレイアウトのバランス、文字入力などができる。 Illustrator: 画像を取り込み、レイアウトを考えて配置できる。また簡単なイラストが描けたり、色調補正、ロゴやチラシ、パンフレット、ポスターなどの作成が可能である。</p>									
教 材									
速習デザインPhotoshopCS4,2011,技術評論社 速習デザインIllustratorCS4,2011,技術評論社 すぐにできるPhotoshop Ver6/7対応,2003,(株)ソーテック社 一週間でマスターするAdobe Photoshop7.0,2002,(株)データクラフト 他									
担当講師					坂本 雅彦				

情報 IT 科

科目	画像処理 II		必修	履修学年	3	単位	4	時間	160
目標	Adobe イラストレータの使用を基本とし画像処理の全般を広く演習することによって販促物の制作や Web 素材の制作に活用できるビジネス実務基本力を習得することを目標とする。								
内容									
1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	1	今季概要	今季概要	今季概要
2	イラストレーター(1)	マップの作成(1)	2	イラストレーター(18)	ティシャツ作成(1)	2	イラストレーター(18)	ティシャツ作成(1)	ティシャツ作成(1)
3	イラストレーター(2)	マップの作成(2)	3	イラストレーター(19)	ティシャツ作成(2)	3	イラストレーター(19)	ティシャツ作成(2)	ティシャツ作成(2)
4	イラストレーター(3)	マップの作成(3)	4	イラストレーター(20)	オリンピックロゴ作成(1)	4	イラストレーター(20)	オリンピックロゴ作成(1)	オリンピックロゴ作成(1)
5	イラストレーター(4)	ポスター作成(1)	5	イラストレーター(21)	オリンピックロゴ作成(2)	5	イラストレーター(21)	オリンピックロゴ作成(2)	オリンピックロゴ作成(2)
6	イラストレーター(5)	ポスター作成(2)	6	イラストレーター(22)	オリンピックポスター(1)	6	イラストレーター(22)	オリンピックポスター(1)	オリンピックポスター(1)
7	イラストレーター(6)	ポスター作成(3)	7	イラストレーター(23)	オリンピックポスター(2)	7	イラストレーター(23)	オリンピックポスター(2)	オリンピックポスター(2)
8	イラストレーター(7)	旅行代理店のチラシ(1)	8	イラストレーター(24)	オリンピック外گرام(1)	8	イラストレーター(24)	オリンピック外گرام(1)	オリンピック外گرام(1)
9	イラストレーター(8)	旅行代理店のチラシ(2)	9	イラストレーター(25)	オリンピック外گرام(2)	9	イラストレーター(25)	オリンピック外گرام(2)	オリンピック外گرام(2)
10	イラストレーター(9)	旅行代理店のチラシ(3)	10	イラストレーター(26)	オリンピックメダル(1)	10	イラストレーター(26)	オリンピックメダル(1)	オリンピックメダル(1)
11	イラストレーター(10)	レストランのロゴ作成(1)	11	イラストレーター(27)	オリンピックメダル(2)	11	イラストレーター(27)	オリンピックメダル(2)	オリンピックメダル(2)
12	イラストレーター(11)	レストランのロゴ作成(2)	12	自由課題(1)	テーマ考案(1)	12	自由課題(1)	テーマ考案(1)	テーマ考案(1)
13	イラストレーター(12)	レストランのメニュー作成(1)	13	自由課題(2)	テーマ考案(2)	13	自由課題(2)	テーマ考案(2)	テーマ考案(2)
14	イラストレーター(13)	レストランのメニュー作成(2)	14	自由課題(3)	ロゴ・広告・ジャケット	14	自由課題(3)	ロゴ・広告・ジャケット	ロゴ・広告・ジャケット
15	イラストレーター(14)	レストランのメニュー作成(3)	15	自由課題(4)	ロゴ・広告・ジャケット	15	自由課題(4)	ロゴ・広告・ジャケット	ロゴ・広告・ジャケット
16	イラストレーター(15)	カレンダー作成(1)	16	自由課題(5)	ロゴ・広告・ジャケット	16	自由課題(5)	ロゴ・広告・ジャケット	ロゴ・広告・ジャケット
17	イラストレーター(16)	カレンダー作成(2)	17	自由課題(6)	ロゴ・広告・ジャケット	17	自由課題(6)	ロゴ・広告・ジャケット	ロゴ・広告・ジャケット
18	イラストレーター(17)	名刺作成	18	自由課題(7)	ロゴ・広告・ジャケット	18	自由課題(7)	ロゴ・広告・ジャケット	ロゴ・広告・ジャケット
19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	19	総まとめ	総まとめ	総まとめ
20	前期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	20	後期期末試験	筆記試験	筆記試験
評価									
出席率が規定率を満たしていること。知識・技能の評価試験を定期的に複数回行うなかで合計評価 52 点以上を合格とし、単位を認める。評価点数に満たないものは再試験・追試験を行うことがある。									
教材									
担当講師オリジナルのプリントを使用									
担当教員						伊藤昇			